

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第12号）について（送付）

トビイロウンカの飛来状況については平成20年8月1日付け病防第59号で技術情報第9号を公表しましたが、その後の発生状況について下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用下さい。

記

1 トビイロウンカの発生状況

- (1) 6～7月の予察灯におけるトビイロウンカ誘殺数は、天草市が0頭（平年66.6、前年5.0）合志市が8頭（平年147.4、前年194）と少なく、本年の飛来量は少なかったと考えられる。
- (2) 8月6日～12日に行った払い落とし調査（1地点につき2ほ場、計50株調査）の結果、本年の株当たり虫数は、普通期早植で0.02頭、普通期及び晩期で0.00頭であった（表1）。

2 トビイロウンカの次世代予測と防除対策

- (1) 要防除水準は8月中～下旬が1頭/株、収穫30日前が3頭/株である。調査ほ場の密度は低いが、トビイロウンカの発生量はほ場や地域による差が大きい。ほ場における発生量を確認して防除の要否を判断する。
- (2) 本年は6月第5半旬および7月第1半旬に飛来が認められた。飛来時期から予測される各作期の防除時期（幼虫ふ化期）は次のとおりである。なお、普通期早植水稻は阿蘇乙姫のアメダスデータ、普通期水稻は熊本市のアメダスデータを使用して算出した（8月18日まで本年値、以後は平年値で積算）。
 - ア 普通期早植水稻
 - 6月第5半旬 8月16～19日（第二世代幼虫ふ化期）
 - 7月第1半旬 8月25～28日（ " " ）
 - イ 普通期水稻
 - 7月1半旬 9月15～9月21日（第三世代幼虫ふ化期）ただし、発生状況にはほ場間差及び地域間差があるため、発生量及びトビイロウンカの発育ステージを確認し、要防除水準を超えたら防除する。
- (3) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

熊本県農業研究センター
生産環境研究所病害虫研究室
予察指導係（病害虫防除所）
担当：作本 tel 096-248-6490

表1 トビイロウンカ特別調査(払い落とし・8/6~12)
株当たり虫数

地点名			成虫	幼虫
早期・普通期 早植え	阿蘇市内牧	巡	0.00	0.00
	阿蘇市一の宮町坂梨	巡	0.00	0.00
	南阿蘇村河陰		0.00	0.00
	南阿蘇村下野	巡	0.00	0.00
	あさぎり町上	巡	0.00	0.00
	錦町西	巡	0.00	0.00
	天草市本渡	巡	0.06	0.10
	天草市河浦	巡	0.00	0.00
平均(8地点)			0.01	0.01
計(成虫・幼虫)			0.02	
普通期	熊本市画図	巡	0.00	0.00
	熊本市中無田	巡	0.00	0.00
	富合町新	巡	0.00	0.00
	玉名市北牟田		0.00	0.00
	玉名市横島	巡	0.00	0.00
	山鹿市南島	巡	0.00	0.00
	菊池市赤星	巡	0.00	0.00
	大津町新	巡	0.00	0.00
	嘉島町下仲間	巡	0.00	0.00
	御船町小坂		0.00	0.00
	八代市高田	巡	0.00	0.00
	八代市鏡町		0.00	0.00
	氷川町若洲	巡	0.00	0.00
芦北町芦北		0.00	0.00	
平均(13地点)			0.00	0.00
計(成虫・幼虫)			0.00	
晩期	八代市千丁町		0.00	0.00
	八代市鏡町1		0.00	0.00
	八代市鏡町2		0.00	0.00
	氷川町若洲		0.00	0.00
平均(3地点)			0.00	0.00
計(成虫・幼虫)			0.00	

- 1 1地点につき、2ほ場調査(各25株、計50株)
2 巡回調査地点は「巡」と記した

【参考 過去のトビイロウンカ発生状況】

	7月中~下旬	8月上旬	8月中~下旬
早期・早植	本年 0.00頭/株	本年 0.02頭/株	本年 -
	前年 0.17頭/株	前年 0.22頭/株	前年 8.01頭/株
	平年 0.08頭/株	平年 -	平年 1.94頭/株
普通期	本年 0.00頭/株	本年 0.00頭/株	本年 -
	前年 0.01頭/株	前年 0.10頭/株	前年 0.12頭/株
	平年 0.01頭/株	平年 -	平年 0.06頭/株